

年頭挨拶



今年もATM(明るく、楽しく、前向きに)

学校法人福岡学園 理事長

水田 祥代



新年明けましておめでとうございます。皆さんは、新たな思いを胸に新年をお迎えになられたことと思います。

本年が福岡学園、教職員、学生、同窓生の皆様にとって実り多き良い年になりますよう心から祈念いたします。

昨年は、地域医療の質向上と健康長寿社会実現へのさらなる貢献を果たすため、「福岡看護大学」を4月に開学させ、看護を受ける方一人ひとりの尊厳を保ち、その人らしい最適な暮らし(well-being)を支える看護専門職の育成を開始するとともに、女性の就業環境の改善のため、事業所内保育を主軸に「ぺんぎん保育園」を開園させました。

現在の本学園の最重要課題である医科歯科総合病院の建替えについては、2020年の開院に向け、基本構想に基づいて既に地盤調査・土壌汚染調査を開始しています。本年は建物敷地・患者駐車場確保のためのテニスコート移設、野球場とサッカー場の入替、薬局の移転とともに、新病院のインフラ整備のための電気・給水管・電線の盛替え工事などの準備が進められています。新病院棟のフロア配置については、年末から実施している各部門・診療科等への個別ヒアリングを今後も複数回実施し、基本設計を4月末

保健施設の収支改善を行うことが必要なのです。診療に関しては昨年後半に訪問歯科センターと内視鏡センターを開設しましたので、この二つのセンターが診療の活性化の契機になればと期待しております。

このように本学園は厳しい時代のなか、長期的な大きな事業を進めつつ、二歩二歩着実に歴史を重ね、教養と良識を兼ね備えた有能な医療人の育成に尽力することで、「入学しやすいうい大学」ではなく、「学生が学びたい大学」、「学生が意欲を持って学び、卒業生が誇れる母校」に、また、安全で高度な医療を地域社会に提供することによる「健康長寿社会を支える地域の医療・保健・福祉への貢献」という本学園の基本理念の下、今年も山積する多くの課題に迅速かつ意欲的に取り組み、適切に対応してゆきたいと考えております。

それでは本年の重点項目を述べます。

(1) 口腔医学の推進

口腔の健康から全身の健康を守る医療・介護の普及のため、口腔医学教育の更なる充実を図る。また、訪問歯科センターを中心とした在宅患者への対応を強化するとともに多職種連携医療における口腔医学の推進に取り組む。

(2) 教育の質的転換

学修成果の可視化を通じてアウトカム基盤型教育を推進し、医療・保健・福祉ニーズに対応できる高度な専門知識と技術を持った人材の育成に努める。また、共用試験(CBT、OSCE)及び臨床能力試験の全員合格と歯科医師国家試験合格格率の向上を目指す。歯科衛生士介護福祉士国家試験については全員合格を目指す。2021年度の看護系大学院開設に向け準備を進める。

(3) 研究の質的転換

研究ブランディング事業の採択を受け、各大学が全学的研究活動の管理・支援・評価体制の整備を進めるとともに、学園内外の連

までに、実施設計を8月末までに完了する予定です。そして来年1月から本格的な新病院棟の建設に取りかかることとしております。昨年末に開催した「第2回新病院の建替え計画に関する説明会」では、新病院のイメージを理解していただいたと思いが、「大学病院として信頼される高度医療に加え、地域に頼られる地域医療センターの役割を担う医科歯科総合病院」となるよう尽力していただきたいと考えております。

また、4年後には福岡学園と福岡歯科大学の創立50周年の大きな節目を迎えることから、昨年発足した準備委員会を中心に、記念ロゴマーク、各種記念イベントの企画、寄付事業、周年史の編纂作業などに着手していきます。さらに、この50周年記念事業の大きな柱の一つに、記念講堂の建設計画があります。新病院開院の後、旧病院跡地に約600名収容の大ホールと中小のセミナー室、レストラン等を完備する予定です。

新病院と記念講堂という大きな建築の事業が続いておりますが、皆さんご存知のように、建築には多額の費用がかかります。この費用については、今まで学園が貯蓄してきた病院建設等資金もありますが、学園の収入は少子高齢社会の中、学納金収入だけでは厳しい状態です。したがって、自らの力で収入を増やしていく必要があります。医科歯科総合病院、口腔医療センター、介護老人

携体制を構築し、時代のニーズを先取りした医療・保健・福祉分野における新たな研究領域の創設に努める。

(4) 学生の受け入れ・支援

口腔医療、口腔保健、看護を志向する意欲のある学生を受け入れ、個々の学生ニーズに対応した修学支援システムや主体的学習支援体制の整備・充実を図る。また、学生への経済支援・就職活動支援の拡充に努めるため、学生後援会、学生共済会、同窓会との連携強化を図る。

(5) 社会との連携・貢献

安心安全な医療の場を地域住民に提供するため、2020年度の開院に向け、新病院建替え計画を遂行する。内視鏡センター開設を契機として医科の活性化を図る。また、地方自治体や医療・保健・介護・福祉等の職能団体との連携を拡充し、地域連携プラットフォームを形成するとともに、多職種連携を基盤とした地域包括ケアシステムの構築を支援する。

(6) 組織運営・財務

安定的な組織運営を継続するため、医科歯科総合病院、口腔医療センター、介護老人保健施設の収支改善を図るとともに、短大保健福祉学科については改組を検討する。4年後の福岡学園・福岡歯科大学の創立50周年に向け、募金活動を含め記念事業を企画・推進する。また、財政状況に応じた実効性のある施設マネジメントを推進する。

以上を重点項目といたします。

最後になりますが、教職員の皆様が、医療・保健・福祉の総合学園として本学園が更に発展を遂げるために何をなすべきかということを常に考えながら、今年もATM(明るく、楽しく、前向きに)の精神で、各自の仕事に邁進していただけることを期待して年頭の挨拶いたします。皆さん今年の干支にちなんで、ぜひワンダフルな年にしましょう！